

# 02 仕事と家庭を両立して働く職員

## 管理職になる前も 管理職になってからも、 仕事も家庭も充実させることができる職場

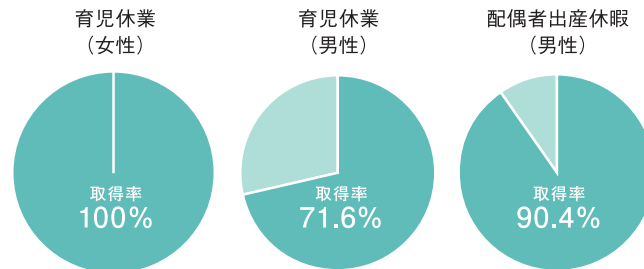
私は管理職になる前から、フレックスタイムを利用して、夫婦で協力して子育てをしてきました。小学校に入った子供の朝の準備や送り出しをする中で、最初は私が学校の準備を手伝っていましたが、次第に子供が自分でできるようになるなど、子供の成長を実感することができました。時間のやりくりで困ったときには上司に仕事の効率化のアドバイスをもらったり、同僚が協力してくれたりして、仕事も家庭も充実させることができました。そうして、自分自身だけでなく、周囲の人もやりがいをもって充実した仕事ができるような職場にしたいと思うようになり、管理職になることを希望しました。

フレックスタイムを利用したことで、周囲の協力の重要性やありがたみを肌で感じることができたことから、管理職になってからは、部下職員が希望する両立支援制度を利用できるようにするだけでなく、やりがいをもって仕事ができるようにサポートしています。



### ● 制度の利用状況 (令和3年度) ●

裁判所には、制度が設けられているだけでなく、制度を利用しやすい環境があります。男女を問わず、多くの職員が制度を利用し、それぞれのライフスタイルに合った働き方で十分に力を発揮し、主要なポストで活躍しています。



**八巻 岳史**  
 岐阜地方裁判所 主任書記官 (H20採用)  
 【略歴】 H20 岐阜地方裁判所多治見支部裁判所 事務官 (採用)  
 H24 多治見簡易裁判所裁判所書記官  
 R4 現職  
 フレックスタイム制利用